



国際ロータリー第2790地区

千葉南ロータリークラブ会報 THE ROTARY CLUB OF CHIBA SOUTH



■創立■ 1964年3月2日 ■例会日■ 毎・金曜日12時30分 ■例会場■ オークラ千葉ホテル
 ■会長■ 松尾 博之 ■幹事■ 齋藤 良亮 ■会報委員長■
 ■事務局■ 〒260-0027 千葉市中央区新田町12-1 トーシン千葉ビル7階 (☎043-245-3204)

2022-23年度

第2794回

2022年12月9日(金) 点鐘12時30分 (晴れ)

- ◆ロータリーソング『我等の生業』
- ◆四つのテスト ～言行はこれに照らしてから～
 1. 真実か どうか
 2. みんなに公平か
 3. 好意と友情を深めるか
 4. みんなのためになるか どうか

◆お客様紹介

●本日のゲストスピーカー
 地区ロータリー財団統括委員会
 副委員長 時田 清次様

◆会長挨拶及び報告 松尾 博之会長

現在、大河ドラマで鎌倉殿の13人が放映されていますが、ここ千葉県にもゆかりが深い武将が多く出ています。

源頼朝が「相州石橋山の合戦」で平家との戦いに敗れ、同国土肥郷真名鶴岬から小船で安房国へ逃げてきたのを千葉氏中興の祖といわれる千葉常胤(ちばつねたね)は、頼朝を助け再起に大きく貢献したそうです。

その後、頼朝の信頼が厚かった常胤は、源平合戦、奥州征伐で軍功をあげ、日本全国各地に所領をもち、その所領は常胤の死後6人の子に受け継がれ、千葉氏はさらに発展しました。

このように日本史上大きな変わり目となる鎌倉時代が誕生するなかで、我々の暮らす千葉の果たした役割は非常に大きなものがあつたようです。千葉の歴史に思いを馳せながら大河ドラマを見て見るのもまた面白いのではないのでしょうか。



◆委員会報告

《社会奉仕委員会》・・伊藤和夫委員長



12月6日に千葉市児童相談所を訪問して参りました。お米(いとう米)と、会員皆様にご提供頂いた衣類などを届けさせて頂きました。館内も案内していただき、子供たちの普段の生活の様子なども拝見させていただくことが出来ました。

◆幹事報告 齋藤 良亮幹事

次週16日は、17日(土)点鐘18:00「忘年家族例会」へ変更となります。

◆出席報告 (会員数 48名)

出席者数	欠席者数	ビジター	11/25 修正出席率
30名	18名	1名	100%

◆ニコニコボックス報告

●松尾 博之会長・齋藤 良亮幹事

皆様こんにちは。

いよいよ今年の日数も少なくなってまいりました。来週は忘年家族例会で多くの外部の方や会員ご家族にご参加いただく予定です。何かと忙しい時期ですが、皆様くれぐれも体調にはお気を付けてお過ごし下さい。

本日は、地区ロータリー財団統括委員会・副委員長でガバナー・ミニ・デジグネートでもいらっしゃる時田清次様に卓話をいただきます。時田様、どうぞ宜しくお願い致します。

●大塚 裕正会員

時田様、本日の卓話、宜しくお願いします。

●鈴木 美津江会員

時田様、本日は有難うございました。これから益々お忙しくなることと思います。お体に気を付けて頑張ってください。

●前島 孝夫会員

昨日の銚子日帰り旅行の youtube をアップしました。受付にQRコードがありますので、是非ご覧ください。

●五十嵐 博章会員(親睦活動委員会より)

忘年家族例会の協賛品並びに協賛金、続々のご協力をいただいております。まだまだ、どしどし受け付けておりますので、当日ご協力いただける方、どうぞ宜しくお願い致します。

また、20世紀の初頭のシカゴの街は、著しい社会経済の発展の陰で、商業道徳の欠如が目につくようになっていました。

ちょうどその頃、ここに事務所を構えていた青年弁護士ポール・ハリスはこの風潮に耐え兼ね友人 3人と語らって、お互いに信頼できる公正な取引をし、仕事上の付き合いがそのまま親友関係まで発展するような仲間を増やしたいという趣旨でロータリークラブの会合を考えました。

このことから「**ロータリーとは職業倫理を重んずる実業人、専門職人の集まり**」であることが分かります。

《ロータリークラブとは何?》



1905年2月23日、ポール P. ハリス、ガスターバス・ローア、シルベスター・シール、ハイラム E. ショーレーの4人が、ローアの事務所でロータリー初のクラブ例会を開きました。

「**仲間のあいだで友情を深めたい**」というハリスの願いの下に集まったこれら4人の会合は、今日、親睦と奉仕を中心とした国際的組織へと発展しました。ロータリークラブは「**仲間の間で友情を深める**」ことが分かります。

また、「**ロータリアンは価値観を共有した友人**」であることが分かります。

《ロータリーの変遷》



1905 ポール・ハリス 職業人の「親睦」を軸にスタートする(シカゴ)。1906 ドナルド・カーター 「奉仕」の考え方を持ち込む。

1910 全米ロータリー大会(シカゴ) ~1911(ポートランド)

アーサー・フレデリック・シェルドン 「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」ベンジャミン・フランクリン・コリンズ 「超我の奉仕」(Service above Self) を演説し、のちの1923年のセントルイス大会の23-34決議案に採用されます。

本日のニコニコボックス	9,000 円	累計	495,458 円
金の箱	347 円	累計	2,280 円

本日の卓話

演題⇒『ロータリー財団について』

卓話者⇒ 地区ロータリー財団統括委員会 副委員長 時田 清次様

本日、卓話をさせていただく市原中央 RC の時田です。大塚クラブ研修委員長より

1. ロータリーとは何?
2. ロータリークラブとは何?
3. 財団とは何?
4. 財団の必要性

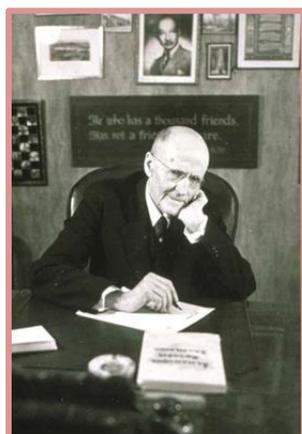
の順で分かりやすく卓話をするよう依頼されていますのでご期待に応えられるよう頑張りたいと思います。



《ロータリーとは何か?》

《ロータリーとは何か?》という、人それぞれロータリーへの考え方があり100人100様と言われます。それがまたロータリーの良いところです。歴史的に考察すると、1905年、ポール・ハリスら4名によって創始された最初のロータリークラブは、その歴史が示すように、

最初に、親睦、健全な商取引から始まりました。



《ロータリー財団について》



アーチ・克蘭フは1917年にRI会長として彼はアトランタ大会に集まった代表役員を前に「さまざまな社会奉仕を今まで通り続けていこうと思うなら、世界で善をなすための寄付金を受け取ることは極めて適切なことだと思われる。」と言った。

これがのちの「世界で良い事をしよう」との合言葉になっています。

1947年にポール・ハリスが逝去した。

彼は豪華な追悼式や像の建立を望まない遺志に明記していたのでRI創始者に敬意を表したい個人やクラブは、ポール・ハリスの名前で1人当たり10ドルを目安としてロータリー財団に寄付するよう要請した。

世界中から資金が寄せられポール・ハリスが亡くなった翌年からロータリー財団は18件のロータリー財団奨学金を授与することができた。

《ロータリー財団の必要性》



戦後、国際ロータリーの目指すところは「平和」との目的を明確にした時期であったといえます。

2021年11月6日(土)千葉

地区財団50周年記念行事を行いました。

千葉地区は、1971年、Golay(武津)由美氏(千葉南RC推薦、スイス留学)

Soulie(沼田)睦子氏(市川東RC推薦、フランス留学)を派遣しました。

ここで誇りに思っていたことは、千葉南RCは1971年千葉で初めての国際親善奨学生を派遣したことです。この奨学生への思い、奉仕の精神を千葉南RCの伝統としていただきたいと思います。

2021年、奨学生を含め、千葉県地区から321名派遣しており、ロータリー財団奨学生は学友会会員として各分野で活躍しています。学友会では副会長でパストガバナー補佐の金親さんに活躍していただいています。

1969年越部平八郎氏(パストガバナー)をリーダーとするスコットランド研究GSE(Group Study Exchange)事業がありました、2010年金親博榮氏をリーダーとするアメリカGSEを実施しています。ロータリー財団委員長としては1983年越部さん1999年金親さんに就任していただきました。その中で越部さんの学友会だよりに卓話として「理と情」がありましたので読んでみたいと思います。

教育補助金制度は国際ロータリーがその財団を通じて行っている世界で誇るべきプロジェクトであります。その中で特筆されるべきことは受益者である奨学生に何らの義務を課していないことだと思えます。

もう少し詳しく説明しますと、奨学生は留学先で学業はもちろんですがそれ以外に親善の大使として国際理解と親善に貢献すべきことが求められています。

しかし帰国後は、ロータリーや財団に対して報告書を提出したり、何かのサービスをするような義務は条件とされていません。つまり理の面では帰国した奨学生は極端に言ってロータリーと何のかわりを持たないでいいということです。だがそれで済むのでしょうか?1人の奨学生が海外で派遣されるためには、その地区内全ロータリアンの寄付金がある基礎になっております。そればかりではありません。スポンサークラブはもちろん地区の担当委員のさまざまな奉仕によってオリエンテーションその他が実行されているのです。このような善意によって始めて留学生が目的地に旅立っていったのです。

善意の奉仕には善意でお返すほかにありませんか。私はそれが「学友」だと考えております。なんの義務もないのですから参加しなくても構わないのです。しかしその人は、きっと心が痛むだろうと思います。私はこの学友の活動がもっともっと盛大なることを願っています。なぜならば学友の皆様はことごとくすぐれた才能を持ち、また留学先の大学にも、またその土地のロータリアンたちにも、立派な思い出を残してきたエリートなものですから。ゲーテの「人格には功ばかりでは足りない誠実がなければ」

偉大なる先輩たちが奨学生を育ててきました。今日の卓話でこの伝統を引き継ぐ意思のある人は現在地区役員候補申請をしていますのでロータリー財団委員に手を挙げてもらいたいと思います。

最後に、アーチ・克蘭フはこう述べています。「金だけでは大したことはできない。個人の奉仕は金がなければ無力である。この2つが組み合わせれば、文明への天の恵みになることができる。」この2つが組み合わせられたとき「希望の財団」となることを確信しています。

(会報担当:佐藤 達志)

